

東京都のデジタル人材育成

2025年3月25日 | 東京都デジタルサービス局

デジタルサービス局及びICT職の設置（2021年～）

- 東京都ではDXを推進し、都民の生活の質を向上させながら、先進都市としてさらに世界をリードするために、デジタルサービス局及びICT職を設置

デジタルサービス局

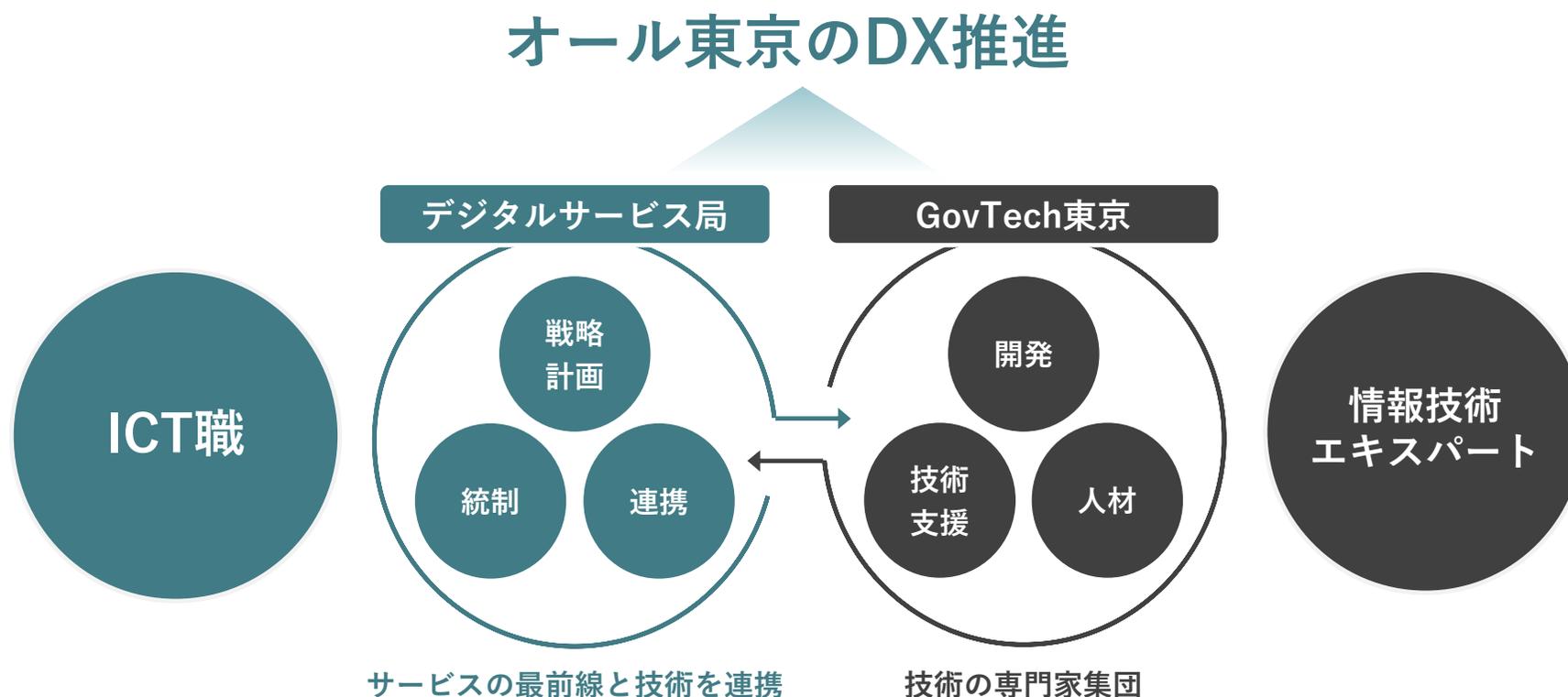
- デジタルの力を活用した行政を総合的に推進
（庁内各局・区市町村のサポート、デジタル人材の確保・育成、行政手続のデジタル化、通信環境の強靱化、スマート東京の実現等）

ICT職

- 都政とICTをつなぎ、課題解決を図る人材
- 都政課題とICTの双方に精通し、ICTを活用して課題解決を図る人材
- ICTの都市実装に向けて、意欲と能力を有する人材

都のICT職×GovTech東京の専門人材

- 都のデジタル施策を担うICT職とGovTech東京の専門人材が連携し、東京全体のDX推進



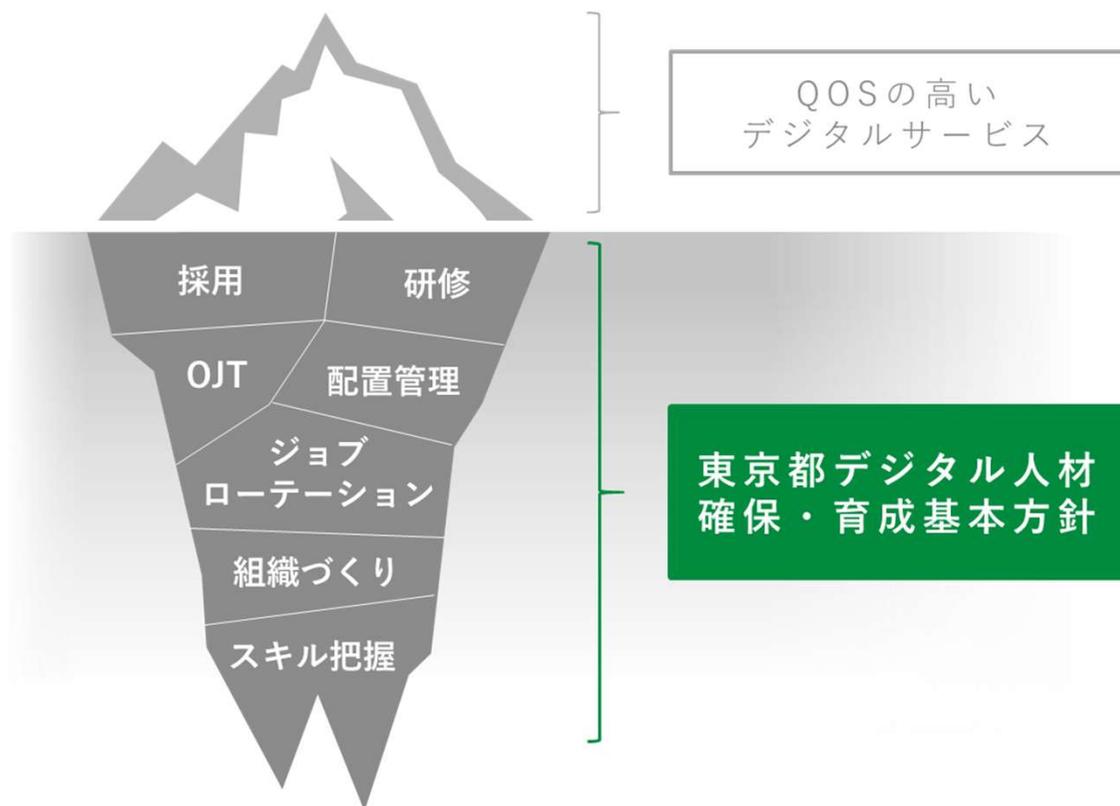
デジタル人材確保・育成基本方針の策定

➤ 東京全体のDX推進に向けては、担い手であるデジタル人材の確保・育成が不可欠

QOSの高いデジタルサービスの実現にあたり、
カギになるのは「ひと」

デジタルサービスを支える「ひと」を確保・
育成するとともに、最大限の能力を発揮できる
ようにすることが重要

デジタルサービスの利用者からは直接見えない
水面下で、デジタル人材に係る採用、研修、
OJT、配置管理、ジョブローテーション、
組織づくり、スキル把握等の制度や取組みの
充実が必要



GovTech東京の設立を踏まえて、基本方針を改定

➤ デジタルサービス局とGovTech東京が、オール東京のDXを牽引するデジタル人材の育成組織として取組を強化

① ICT職のキャリア開発の強化

② デジタルアカデミーによる研修充実

東京都
デジタル人材確保・育成基本方針

ver.2.0

東京都デジタルサービス局



① ICT職のキャリア開発の強化 — GQ×DQ

- 行政力（GQ）とデジタル力（DQ）をバランスよく身に付けるためのジョブローテーションを実施



Government Intelligence Quotient

行政の仕組みや法律知識、各種連絡・調整など行政職員として必要な知識やスキル

デジタルサービス局

国の省庁 等

Digital Intelligence Quotient

デジタルテクノロジーを用いて課題解決や機会を創造するための知識やスキル

GovTech東京

民間企業 等

① ICT職のキャリア開発の強化 — デジタルスキルマップ^o (DSM)

➤ 「共通言語」の定義と「現在地」の把握のため、DSMを策定

「共通言語」

さまざまなバックグラウンドを持つ関係者の中で共通理解を図るため、デジタルスキルやジョブについて「共通言語」を定義する必要性



「現在地」

一人ひとりのスキルレベル等を可視化し、都庁内のデジタル人材の「現在地」を把握する必要性



デジタルスキルマップ

① ICT職のキャリア開発の強化 – DSMのスキル項目

➤ ICTに関するスキル22項目とレベル（4段階）を定義

分類	#	スキル項目
戦略・企画	1	IT戦略
	2	サービスデザイン
	3	マーケティング
デザイン	4	UXデザイン
	5	UIデザイン
データ	6	データアナリティクス
	7	データエンジニアリング
プロジェクト管理	8	プロジェクトマネジメント
システム全般	9	システムアーキテクチャ
	10	クラウドサービス活用
アプリケーション	11	業務系アプリ設計・開発
	12	Webアプリ設計・開発
	13	スマホアプリ設計・開発
インフラ	14	ネットワーク設計・構築
	15	サーバ基盤設計・構築
	16	データベース設計・構築
セキュリティ	17	サイバーセキュリティ
	18	システム監査
運用	19	運用設計
	20	システム管理
	21	ユーザサポート
先端技術	22	AIエンジニアリング



Lv.0	Lv.1	Lv.2	Lv.3
【未実施】 基礎知識が無く、実践の経験も無い(乏しい)	【要指導レベル】 基礎知識を有し、指導のもと実践できる	【自立レベル】 応用知識を有し、独力で実践できる	【指導者レベル】 高度な専門知識を有し、他者を指導できる

① ICT職のキャリア開発の強化 — 需給分析

➤ DSMの結果（供給）と庁内のデジタルニーズとのギャップを分析し、人材育成における重点育成分野を決定

重点育成分野

- ・ クラウドサービス活用
- ・ UXデザイン
- ・ UIデザイン

デジタルスキル「需要」

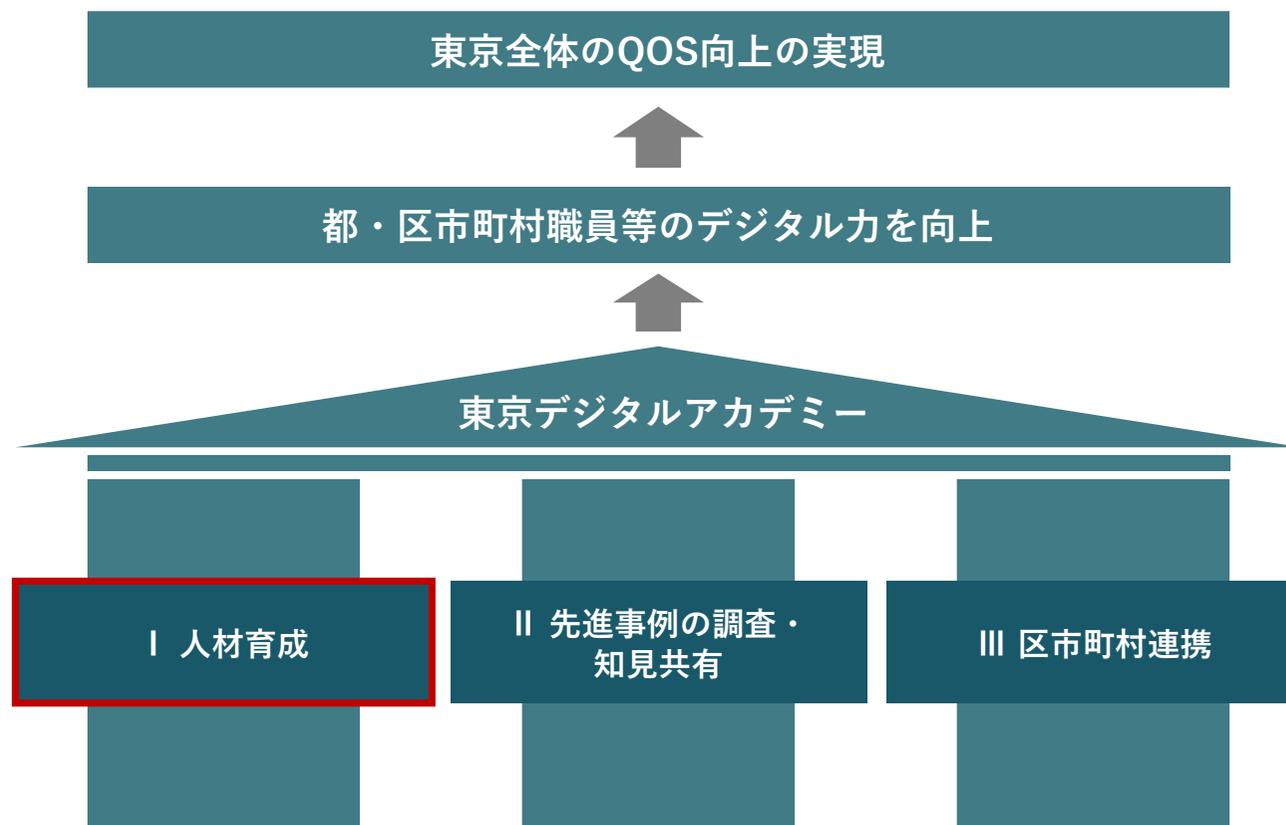
- 1 クラウドサービス活用
- 2 プロジェクトマネジメント
- 3 サイバーセキュリティ
- 4 運用設計
- 5 UXデザイン
- 6 UIデザイン
- ⋮
- 13 マーケティング
- 14 データアナリティクス
- 15 データエンジニアリング
- ⋮

デジタルスキル「供給」

- 1 プロジェクトマネジメント
- 2 システムアーキテクチャ
- 3 運用設計
- 4 システム管理
- 5 業務系アプリ設計・開発
- 6 ユーザサポート
- ⋮
- 13 UIデザイン
- 14 クラウドサービス活用
- 15 UXデザイン
- ⋮

② デジタルアカデミーによる研修充実 – TDA

- クオリティオブサービス（QOS）向上に向け、東京デジタルアカデミーの取組を強化



② デジタルアカデミーによる研修充実 — 人材育成

➤ 全職員に対して、レベルに応じた体系的な研修を実施

デジタル力のレベル（イメージ）と育成策



② デジタルアカデミーによる研修充実 — 学びの共有

➤ DX推進のノウハウや学習教材はTDAポータルサイトで共有

TDAポータルサイト ※Japanese Only



<https://digi-acad.metro.tokyo.lg.jp/>

スキルベースの人材育成推進に向けて

➤ 現在のDSM

経験した業務・プロジェクトの難易度や担った役割、
発揮したスキル等から、レベルを判定

➤ 今後の展望

更なる客観性の向上・定量的なレベル把握に向け、
主要な試験・資格の情報を紐づけた体系へ



試験/資格とスキル項目の紐づけ（例）

DSM - スキル項目	IPA 国家試験/資格（高度）
ITストラテジー	ITストラテジスト試験
システムアーキテクチャ	システムアーキテクト試験
プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネージャ試験
サイバーセキュリティ	情報処理安全確保支援士

東京デジタル2030ビジョン

TOKYO Digital 2030 Vision

2023年 9月

東京都

一人ひとりが輝く社会を目指し、3つの変革に挑戦する

目指す社会

デジタルの力を活用して行政のQOSを向上し、一人ひとりに最適化されたサービスを行政の垣根を越えてタイムリーに届けることで、都民のQOLを高め、一人ひとりが輝く社会

3つの変革

プッシュ型

Before

自らサービスを調べて行政へ申請

After

行政が先回りして、その人の状況に応じたサービスをプッシュでお知らせ、申請後迅速にサービス提供

垣根を越える

Before

利用者が自治体ごとにそれぞれ手続

After

部署間や都、区市町村などの垣根を越えて情報を共有し、それぞれの役割に応じたサービスを提供

顧客最適化

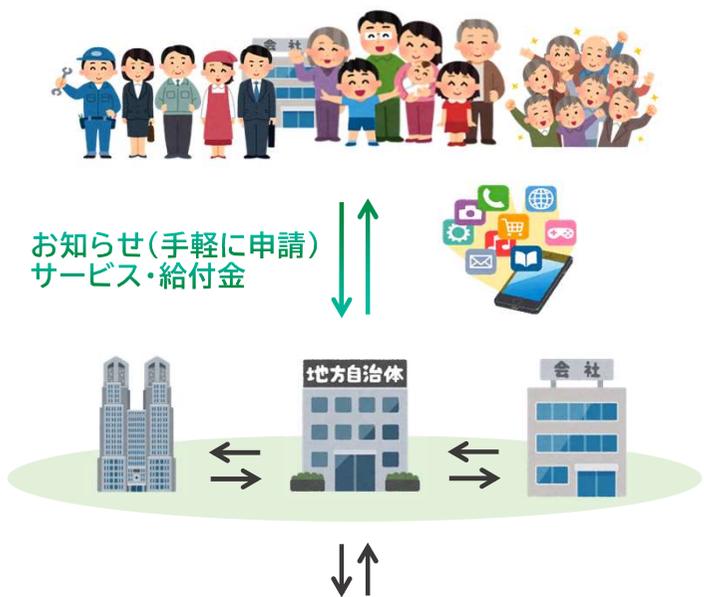
Before

行政視点からの標準サービス

After

利用者それぞれのニーズや状況変化を的確に捉え、最適なサービスを組み合わせて提供

3つの変革を進めるために、まず基本的な枠組みを作る



- ポータルサイトやアプリ等、デジタルサービスの入口を整備し、利用者と行政をつなぐ

- 国、都道府県、区市町村、民間のデータを連動させる

- 官民のサービス提供の基盤となるデータベース(ベースレジストリ)を整備する

都が先導してデジタル3原則※を徹底し、変革を牽引

デジタルファースト

個々の手続・サービスが一貫してデジタルで完結

ワンスオンリー

一度提出した情報は、二度提出することを不要に

コネクテッド・ワンストップ

民間サービス含め、複数の手続・サービスをワンストップで実現

※ 国のデジタル手続法で掲げるデジタル化の基本原則

* 情報の提供範囲やプッシュ通知の種類は、個人が選択可能

サービス変革が進むことで、都民の暮らし・事業者の活動をよりよくできる

子ども



成長やその子の状況に応じた適切な支援サービスの情報が切れ目なくタイムリーに届く

高齢者



きめ細かな介護や医療のサービスが先回り提案され簡単に利用可能

事業者



起業や補助金の手続きがオンライン・ワンストップで完結し、その後も企業活動に資する情報を提供

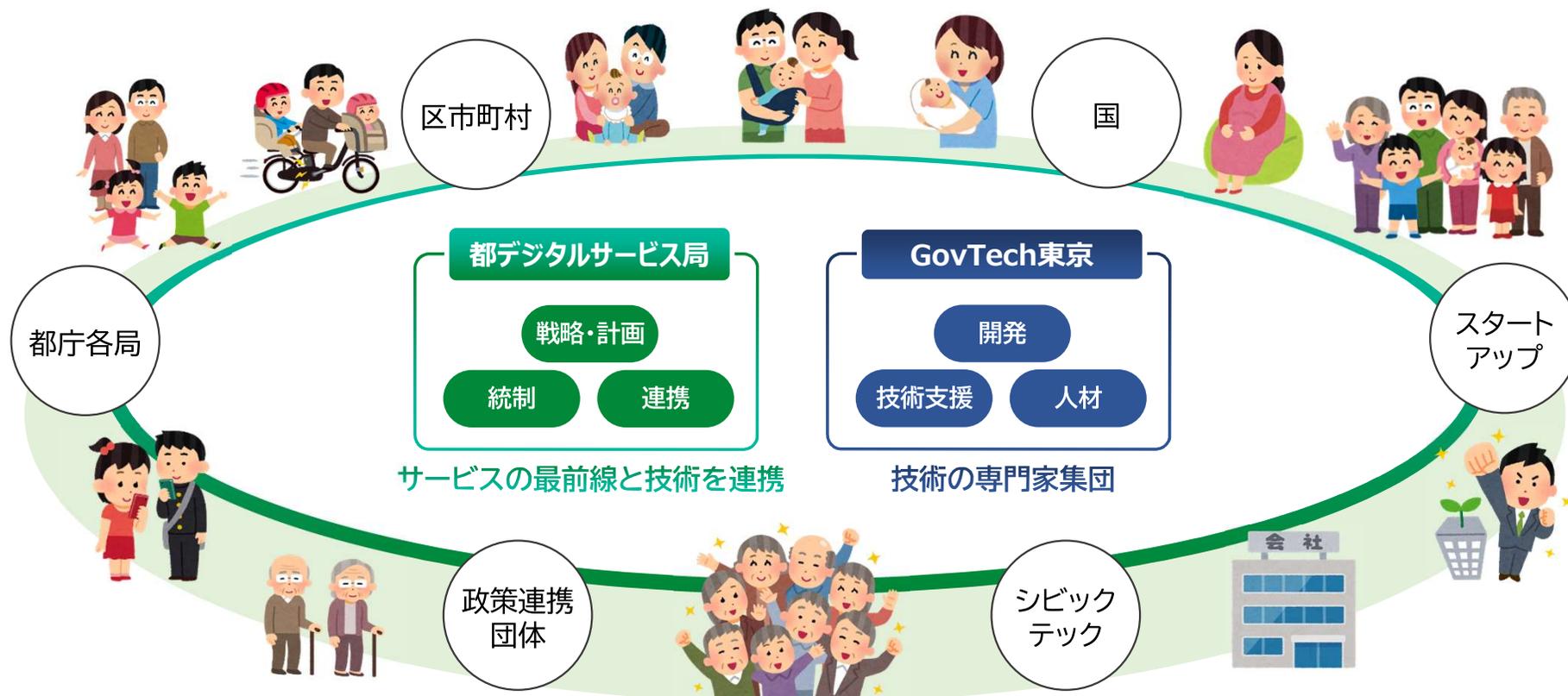
防災



被災時の物資や情報が、状況の変化に応じて必要な量・必要な時に届く

...

東京都が、行政サービス変革の推進力となる



“ 情報技術で行政の今を変える、首都の未来を変える ” (GovTech東京の理念)